

出前中堅教員サポート塾

6月14日に鉾子市では「校内研究（研修）の進め方について」と「全国学力・学習状況調査について」、6月20日に神崎町では「人材育成について」と「学校安全について」の出前中堅教員サポート塾を開催しました。

ペアやグループでの演習を行う中で、活発な意見交換が見られました。以下、参加者の感想を紹介します。

鉾子市（令和6年6月14日） 参加者15名

当日の様子と 参加者の声



全国学力・学習状況調査の分析など職員で共有できるようにしていきたいです。

研究の進め方を再検討したり、児童のつまずきを全体で分析し、共有してみたいです。

校内研究モデルプランの例を協議会などに生かし、活性化を図りながら、主題に迫っていきたいです。また、全国学力・学習状況調査の動画コンテンツを研修で扱いたいです。



全国学力・学習状況調査では、正直、調査していない教科だったので見方がわかりませんでした。本日の研修で見方がわかったので、担当職員と一緒に分析を行ってきたいです。

神崎町（令和6年6月20日） 参加者22名

当日の様子と 参加者の声



人材育成について、本人に考えさせる対話に心がけたと思いました。

中堅教員として人材を育てることの大切さと難しさを学びました。

学校事故防止については、自分を始め、当事者意識を一人一人に持たせることに気をつけて、同じ事故を繰り返すことのないよう、事故防止の指導に努めたいと思います。



「安全を重視すると制約がかかる。しかし、安全を軽んじた上で成り立つ生徒の盛り上がりや成長に必要な以上に価値付けしてはならない。」という言葉が記憶に残りました。